

きずな



蓮田・白岡地方ユネスコ協会

今後の活動指針

ウィズコロナの社会変化に対応



世界中が新型コロナウイルス感染拡大で未曾有の困難に直面して収束も覚束ない現在ですが、日常的にコロナと共存する時代に於いて想像もできない事態も発生するでしょう。生活様式が一変しあらゆる組織・団体も脆弱性を衝かれ、瓦解したり、変容したり、存在理由を問われる事態が予測され当協会のありようにも思いを馳せます。総会において(書面による議決権行使方式で実施)運営を会員諸氏から全員一致、ユネスコの平和活動

を付託された私達の責任は重く、適合する活動や未来に向けた方向付けを更に模索していかねばなりません。それなくしては期待された方々に申し訳なく、また持続も存在理由も問われるでしょう。当協会は、「祈る平和」ばかりでなく「減災・防災教育」にも一石を投ずるような積極的な取り組みや、もう少し「学校教育」にも踏み込んだ対応も必要でしょう。運営も出来る限りオンライン化は進め、将来的には「WEB会議」にできる準備をしたり、情報はいち早く簡単に共有でき・連帯感の醸成もすすめ会員同志と有事に備えなければならぬと思えます。皆様のご協力をお願い致します。(田村)

2020年度 当協会 定時総会報告

総会は蓮田市図書館での開催を予定しておりましたが、コロナ感染拡大防止のため、公共施設が臨時休館となり利用出来ず、参集方式から書面による議決権行使方式で審議して戴くことになりました。3月末に議案案書と各議案への承認可否認を問うハガキを送付し、4月25日までに返信戴き、第1号議案から第五号議案まですべて原案通り承認を得ました。今年度から理事に山本氏が加わり、役員構成は次の通りとなりました。よろしくお願ひします。

役員紹介

会長	田村 勝彦
副会長	熊倉 晃
同	飯島 剛
同	平賀栄美子
事務局長	山内 武利
同次長	向山 裕規
理事	齋藤 隆宗
同	柴山 利幸
同	山本二三男
同	齋藤恵美子
監事	齋藤恵美子
顧問	福地 光男

埼玉県ユネスコ連絡協議会 2020年度総会報告

県内7ユ協で構成の協議会の総会は、コロナ感染防止のため役員(田村会長・熊倉事務局長)が招集しての総会は実施不可となり、4月に審議資料を郵送し、5月末までの賛否の回答をお願いした結果、議案全て承認を得ました。

今期事業の開催予定

10月から来年3月に①ユネスコスクール支援事業②国際文化スタディ③地域文化遺産スタディ④文化遺産めぐりは開催予定。但し、今後のコロナ状況により流動的。HPでの案内を参照下さい。



コロナに負けるものか

昨年を振り返り感謝とエールを

会長 田村勝彦

関東ブロック・ユネスコ活動研究会 in 埼玉は皆様のご協力により盛況裡に終了できました。未だ当時の感動や余韻が冷めやらぬ日々ですが、突如として現れたコロナに事業も延期や中止に追い込まれ、生活様式も変わりました。昨年今頃は白血病治療の無菌室で大日程を数えたり、毎日「生と死」に向き合う日々でした。当時を振り返り、漸く生き延びた事を感謝しつつ9か月に及ぶ入院生活の心の葛藤を記録した句(駄作)を恥ずかし乍らご披露させて戴きます。

・ 苦に耐えた わが身が愛し 無菌室
 ・ 耐え忍べそれ以外なき 無菌室
 ・ 点滴を見上げて 久し 無菌室

・ カフカ云う孤独と不安の 無菌室
 ・ 良き友と家族が支える 無菌室
 ・ 点滴は 天敵と書く 無菌室
 ・ 痛みに耐え 拳開かぬ 無菌室

(俳号/急白)

そして、多くの皆様のお励みで完全寛解となり、願わくば一日でも早く快癒を願ひりハビリに精を出し、コロナに罹らないよう闘病の日々です。会員皆様の中にも癌や難病と闘いそれでも「私達のユネスコ活動」に寄り添い、ご支援下さる同志の方が大勢いらっしゃいます。その方々に近況と併せ、心からの敬意と感謝をお伝えできれば望外の喜びです。快癒を信じ共に頑張りましょう。有難うございました。

【特別寄稿】 改めて人との出会いに感謝

関東ブロック・ユネスコ活動研究会を振り返り
福地光男（顧問）

2019年度関東ブロック・ユネスコ活動研究会 in 埼玉(蓮田・白岡)を終え、様々な人との出会いに感謝しています。遊ばね館で過ごした学生時代の1974年にユネスコとの最初の付き合いがありました。その後、南極関係の研究所に勤務し、多くの国際会議や委員会に出席しましたが、その中に文部科学省日本ユネスコ国内委員会自然科学小委員会やIOC協力推進委員会がありました。後者は国際オリンピック委員会ではなく、政府間海洋学委員会です。次のユネスコとの出会いは2008年の埼玉版の新聞記事でした。蓮田・白岡地方ユネスコ協会の設立準備会発足を記念する講演会が開かれる、というものでした。「豆腐バカ世界に挑む」という演

分でワインを造られるワイン通であり、ホージーさんはスコットランドを愛しバグパイプ演奏が得意でした。この時は知合いの退職祝いに豪州から駆け付けて戴き、ホージーさんは祝賀会でスコットランド伝統の正装で演奏してくれました。なかなか日本ではバグパイプの生演奏を聴く機会がないと思いき、田村会長に協会での演奏会を持ちかけました。会長は即断され白岡市役所や蓮田市役所への表敬訪問、会長の町内自治会での演奏会を企画しました。きつと理事の方々には短時間での準備に追われたのではないかと思います。その時の様子は協会会報第16号にあります。実はこの時に会長からユネスコ関東ブロック研究会を協会が主管する事になり、記念講演について相談を受けました。当初は私一人に基調講演を、という会長からの話でしたが、私一人では荷が重すぎること

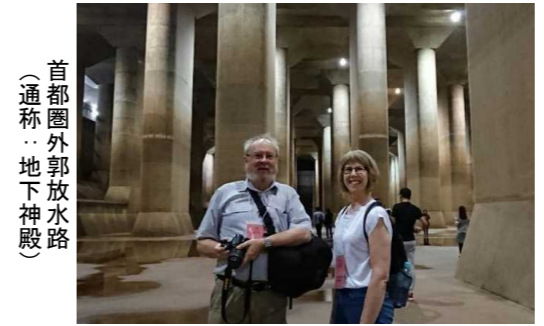
と、3年後に果たして私が元気で引き受けできるか不安もあり、何人かで引き受け得ることでもスクを減らしたいとし、豪州からの二人はその重要な候補者で、早速彼らに相談したところ二人とも快諾してくれました。その後は更に私のバックアップに国立極地研究所の伊村副所長(宇都宮高校の後輩)を引きずり出し、4名でのパネル討論を企画しました。南極の陸上生態(伊村)、海洋の食物連鎖(ホービーとホージー)を中心にして私が全体進行を務める、という事で4人の間で講演内容はホージーさんにカバールしてもらいました。やはりリスクマネジメントは大事であると感じました。ホージーさんは奥様と来日され、研究会後の観光等を楽しみにしていました。一つは首都圏外郭放水路です。私自身も行ったことがなく、蓮田・白岡から近い春日部市郊外にあ



伊村教授とホージー夫妻



足行道山浄因寺「雲の架け橋」



首都圏外郭放水路(通称:地下神殿)

この3年間には予想しないことが起こるものです。準備期間にまさか田村会長が長期入院治療するとは予想だにしていま

【特別寄稿】 ベトナムとのおつき合い

石崎光夫（賛助会員）

「ベトナム」は私がこの仕事を始めて最初に赴任した海外勤務地である。その後スリ・ランカやシンガポールにも勤務したが「初恋の人」ではないが、最初に出会った「ベトナム」への想い忘れがたく、月日が経つにつれ募るばかりだった。こう言い方をすると日本語にうるさい学者先生からおしかりを受けるかも知れないが「私にとつて“ベトナムが趣味”なのである。

「似て非なる」ベトナム人の特質に私は魅せられたのだと思う。さて、そのベトナム人だが、彼らには相異なる「2つの顔」があるように思えてならない。1つは「花鳥風月」をこよなく愛する繊細な「詩的情緒」を愛する顔、もう1つはそれとは真逆の「強(した)たかさ」という相矛盾した「ふたつの顔」である。それともうひとつ付け加えるところば、これは最も大事なポイントだが「ユーモア」に包んだ「物言いのセンス」である。これらの「強かさ」や「ユーモア」センスは、1000有余年にわたる建国の歴史の過程で、中国やフランス、そして最近ではアメリカなどその時々々々

47年ぶりに訪ねてきてくれ、旧交を温めることができた。そんなこんなで気づいてみたわが女房とよりも、ベトナムのつきあいの方が長くなっ

因みにJICA退職後1冊の性もない本を書いたが、タイトルを「ベトナム、私の趣味」としたのもこのためである。そんな私を見て人は問うのである。どうしてそこまでめり込むようになったのか!と。私ははじめのうちには相手を納得させるような明快な返事ができなかったが、今思うに魅力の根源は「ベトナム人」そのものにあるような気がする。日越両民族は倫理観やものの考え方やメンタリティなどが比較的に似ているという。たしかにそうかも知れない。実は必ずしも似ていない

かく申す私はそんなベトナムに魅せられ、かの地から戻ってあれこれ50年にもなろうとしているのに、未だに彼らとの交流が続いている。あるときはゼミの学生たちを連れて、あるときは家内と愚息を連れて、そしてあるときは自分一人でベトナムとの間を行き来して

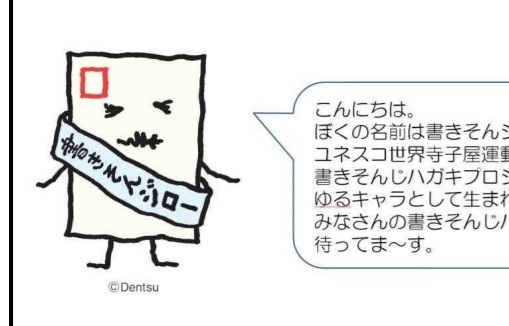
床となり、「恥の文化」の悪い面に拍車をかける。地方組織には地方組織にしかできない役割がある。中央の活動を受け止める形ではなく、ローカルに適応した役割は今後重要な課題となる。自身の手足を動かし、自身で考え、自身で答えを出し、過ちに柔軟に対応し、ローカルに共生する道の正しさが明確になったことに、不安ベースから解放される希望を感じるのである。



ベトナムCho Ray病院脳外科プロジェクトスタッフ(後列右端:筆者)

【特別寄稿】
日本人の「恥」の文化
柴山利幸(会員)

新型コロナウイルスは、さまざまな問題の本質を白日の下に晒す機会となった。今回の騒動を振り返り、今後に活かす

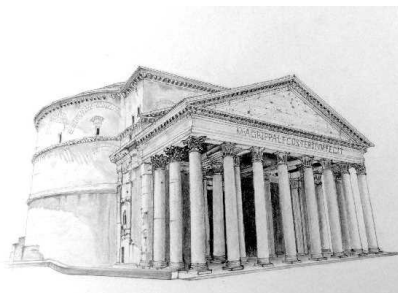


ローカルに共生の道あり...

ローカルに共生の道あり...

世界遺産 TriD-2

ローマ パンテオン素描



ローマと云えばトレビの泉、そこから西へ細い道をマルクス・アウレリウスの記念柱に向け歩き、記念柱を右手に見準進むと10分程でパンテオンに着。細道からロトンダ広場に出ると目前にギリシヤ神殿にあるような立柱の変った建物が現れる。この建物こそ、初代皇帝アウグストウスの右腕アグリッパによってBC25年に建造されたパンテオンである。現在目にする建物は当初の物ではなくAD118年〜128年にかけて再建され

たもの。しかしフアサードにM・A

GRIPPAの文字が刻まれローマ帝国そのものを漂わせる。中に入ると直径43.2mの円堂と同口径のキューブによる不思議な空間の構成に思わず驚嘆。頂部には9mの円形の開口部があり光を呼び幻想的な雰囲気を出す。キューブ面には大きな掘込みが作られ幾何学的な壁面(天井面)を作り出す。これにより躯体の重量を減じて自重による崩落を防ぐ。構造力学など無い時代に斯様な構造的安定を作り出したものだと思嘆。内壁際にはキリスト教や歴史的人物の彫像が並び壮観。画家のラファエロの墓もあるのが必見。素描ではないが多くの観光客で賑わう。現在はコロナの影響で無人なのが残念だ。(2019年訪問)素描…全景(鉛筆は2H〜8Bを使用) 原田 仁(会員)

会員紹介



①執筆者
②今までの歩み
③ユネスコ活動への抱負
(敬称は省略しています)

①久保橋利文(くぼはしとしふみ) ②東京都中野区在中③入会の動機は以前田村会長と同じ会社に勤めて退職後のOB会でお会いした際、先輩が新しいユネスコ活動を地元で立ち上げると言う話を聞き私自身も以前から関心を持ち何かの役に立てればと思いい東京在住でも入会可能か尋ね入会致しました。私は現役を卒業し趣味の旅行、ドライブ、歴史探訪と目標を決め過ごしております。樹齢千年を超える一本桜の全てを訪問、最近では古代縄文遺跡を巡る旅を青森の三内丸山遺跡から高崎将軍塚古墳、さきたま古墳群をめぐり楽しんでおります。会長の情熱と行動力を鑑に自らの研修に努めるよう尽力したいと思っております。



①山本二三男(やまもとふみお) この度田村会長から入会のお誘いを頂きました。正直な話、ユネスコという組織の一員として、私に何が出来るのか重圧でした。協会設立10周年記念誌を拝読、(東海道歩き吉原で)(昨年河口湖で)華麗な業績に敬服するのみです。田村会長慧眼の基、理事皆様がたの経歴をみてもキラ星の如く、実力の持ち主ばかりです。そんな中にあつて悩んでいても始まりません。諸先輩のご指導お引き立てを頂きながら、出来ることから会に貢献出来るよう努力致します。宜しくお願ひします。私は、富士吉田市の出身です。郷土の自慢は富士山と五つの湖、人物は武田信玄公、ぜひ山梨へお出かけ下さい。



①江原美鈴(えはらみすず) さいたま市②高校一年生③10月の関東ブロック大会での青少年ユネスコ活動ワークショップに参加し平和について考え寺子屋活動に興味を持ち入会しました。そして、地球温暖化への講義を聞いて温暖化が進み、安全に生活ができなくなっていることを学びました。一人ひとりが意識して実行することが大切だと感じました。以前、文化遺産巡りの和紙づくりに参加しましたがとても楽しい経験になったのでまた参加したいです。



①牛山ひなの さいたま市②高校生③友だちのお祖父さん、お母さん、

そして友だちが会員で色々活動していることを聞いておりました。私達はとても恵まれた環境の中で生活をさせてもらっていると感じました。私の将来の夢の職業を目指すにあたり、是非色々な活動に参加をさせて頂き、少しでも人の為に何が出来るか、そして自分たちの使命は何かを探していきたいと思っております。

編集後記

地球規模の大災禍「コロナウイルス」、国内に目を転じれば「令和2年7月豪雨」と大災害が襲い、人と人の関わり方が大きく変化してしまいました。当協会も予定のイベント、会合が延期や中止となりました。被災された方には心からお見舞い申し上げるとともに一日も早い安寧な生活に戻れることをお祈り申し上げます。(理事一同)